

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ぼじてい		
○保護者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間の工夫：生活空間が子どもに分かりやすく構造化されており、環境整備が行われている。	順番管理の徹底：玄関の混雑を防ぐため、順番に呼び出すルールを設け、靴を履くのに時間がかかる子どもを後にするなどの工夫を実施。	クールダウンスペースの確保：現状の環境で洗面所や車内などを活用しつつ、ネットで販売されているパーティションや個別スペースを確保できる設備の導入を検討。
2	環境上の配慮：障がいの特性に応じたバリアフリー化や情報伝達の工夫が適切になされている。	環境整備の工夫：トイレのドア開閉に関する注意喚起の工夫や、清掃のリスト化による環境改善を意識的に行っている。ロールカーテンや組み立てテントの活用：個別の空間確保が必要な場面で柔軟に対応。	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・整理整頓の強化：朝・夕の清掃ルールを見直し、物品の分類や整理のルールを明確化。</li> <li>業務改善の意識向上：会議の場で業務改善のテーマを設け、職員が意識的に改善に取り組めるようにする。</li> </ul>
3	個別の環境整備：必要に応じて、ロールカーテンや組み立てテントを活用し、個別のスペースを確保する工夫がされている。	職員間の情報共有の推進：日常業務の中で支援に関する会話を増やし、共通理解を深める努力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の機会確保：基礎基本の研修機会を確保し、法人内研修の充実や外部研修の積極的な参加を促す。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンや振り返りの空間不足：落ち着いて過ごせるスペースが不足しており、対応が難しい場面がある。玄関の狭さによる混雑：一斉に帰る際に混雑しやすく、スムーズな同線確保が課題。	クールダウンスペースの不足：施設の物理的な制約により、静かな環境の確保が難しい。清掃・整理整頓の課題：日々の業務が多忙なため、清掃や整理整頓の意識が十分に定着していない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンスペースの確保と工夫</li> <li>簡易パーティションや個別スペースを設置し、必要に応じて活用。</li> <li>現状の環境での対応を整理し、職員間で共有する。</li> </ul>
2	清掃・整理整頓の不足：おもちゃや物品の整理整頓、清掃が十分でない場面が見られる。	職員間の業務改善意識の低さ：目標設定や振り返りの文化が根付いておらず、改善の意識が薄い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・整理整頓の習慣化</li> <li>掃除のリストを再確認し、朝・夕の清掃ルールを定着させる。</li> <li>整理整頓の基準を明確にし、自由に使えるものとそうでないものを区別。</li> </ul>
3	業務改善への意識不足：PDCAサイクルや業務改善に対する意識が低く、職員間での目標設定や振り返りが不十分。職員間の共通理解の不足：支援計画の共有が不十分で、支援の一貫性が確保しにくい。	支援計画の共有不足：職員間の共通理解が不十分であり、支援の統一性が確保しにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善の意識向上</li> <li>会議の中で「業務改善」について話し合い、テーマとして取り上げる。</li> <li>目標設定と振り返りを行い、業務改善のサイクルを確立する。</li> <li>支援計画の共有強化</li> <li>職員間で5～10分の短いミーティングを定期的に設け、支援方針の確認を行う。</li> <li>支援会議を会議ベースで実施し、共通認識を深める。</li> <li>研修機会の確保と活用</li> <li>法人内の研修機会を定期的に確保し、基礎的な研修を導入。</li> <li>外部研修の情報を積極的に提供し、参加しやすい環境を整える。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 放課後等デイサービス ぼじてい

公表日 2025年3月25日

利用児童数 30名

回収数 12名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10			2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				1	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				短い時間の中で、とても子供の特性を捉えていて、とても勉強になります。子供に寄り添った支援を感ずします。不安も何もなくあります。熱心に帰ることができ、自分もまた頑張ろうと思える支援を頂いています。この場所を選んで良かったなとも思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1			2	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1			9	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1			9	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				2	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2			9	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				2	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス ぼじてい				公表日	2025年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6						
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		クールダウンや振り返りが必要な場面、集中できる環境設定が必要なお子さんなどに対応する空間の設定が難しい→支援者の臨機応変な対応や対応の必要有り 玄関がそんなに広くないから、一言に降ると詰まっている。機番に呼ぶことを徹底する方がいい。靴を履くのに時間がかかるを最後になどの工夫も必要			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		玩具など物の配置、整理整頓をすることでより使いやすいくなるのでは。自由に使える物、そうではない物をはっきりと分ける。そうじをすみまでかけていないのか、髪の毛が落ちてたりする。荷物入れの中にも入ってたりする。トイレも汚れていることがある。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	ロールカーテンや組立テントなどで工夫しており、現状でできることは 行っているが、他にも工夫できないか検討してはどうでしょう。				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		業務改善を進めるためには、まず課題や目標を意図することの確認が必要?! 目標設定に参画していることは少ない。ほとんどできていないと思う。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		職員の意見等を把握する機会が少ない。機会があったとしても一定の人に限られることが多い			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	今後も研修等参加していきたい。	事業所として必要研修以外に、子どもに関わる支援者としての基礎・基本についての研修が実施されると良いとおもいます。日常的な振り返りの中でも、基礎・基本の確認の積み上げができるの良いと思います。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6						
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		りあえず、共通理解のための時間を5分でも10分でも定期的に持つようにははどうでしょう。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		適応行動の状況把握の共有だけでも良いので個別の支援計画に関連付けて、取り上げ確認するようにしてはどうでしょう。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		具体化支援内容の設定はされているかも知れませんが、全体への周知はされていますか?			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		プログラム立案の骨子について共通の周知をもっとしていったら良いとおもいます。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6						
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6						

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			詳細には難しいと思いますが、立案者が簡単に課題や良かった点を記載していくことが定着していないと思います	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6				まだ利用のお子さんで卒業生は出ていないが今後そうしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6					

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ほじてい		
○保護者評価実施期間	令和7年2月18日		令和7年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数) 5名	
○従業者評価実施期間	令和7年2月18日		令和7年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数) 6名	
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活空間の工夫: 生活空間が子どもに分かりやすく構造化されており、環境整備が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順番管理の徹底: 玄関の混雑を防ぐため、順番に呼び出すルールを設け、靴を履くのに時間がかかる子どもを後にするなどの工夫を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンスペースの確保: 現状の環境で洗面所や車内などを活用しつつ、ネットで販売されているパーティションや個別スペースを確保できる設備の導入を検討。</li> <li>清掃・整理整頓の強化: 朝・夕の清掃ルールを見直し、物品の分類や整理のルールを明確化。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境上の配慮: 障がいの特性に応じたバリアフリー化や情報伝達の工夫が適切になされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備の工夫: トイレのドア開閉に関する注意喚起の工夫や、清掃のリスト化による環境改善を意識的に行っている。</li> <li>ロールカーテンや組み立てテントの活用: 個別の空間確保が必要な場面で柔軟に対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善の意識向上: 会議の場で業務改善のテーマを設け、職員が意識的に改善に取り組めるようにする。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の環境調整: 必要に応じて、ロールカーテンや組み立てテントを活用し、個別のスペースを確保する工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の情報共有の推進: 日常業務の中で支援に関する会話を増やし、共通理解を深める努力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の機会確保: 基礎基本の研修機会を確保し、法人内研修の充実や外部研修の積極的な参加を促す。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンや振り返りの空間不足: 落ち着いて過ごせるスペースが不足しており、対応が難しい場面がある。</li> <li>玄関の狭さによる混雑: 一斉に帰る際に混雑しやすく、スムーズな動線確保が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンスペースの不足: 施設の物理的な制約により、静かな環境の確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールダウンスペースの確保と工夫</li> <li>簡易パーティションや個別スペースを設置し、必要に応じて活用。</li> <li>現状の環境での対応を整理し、職員間で共有する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・整理整頓の不足: おもちゃや物品の整理整頓、清掃が十分でない場面が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・整理整頓の課題: 日々の業務が多忙なため、清掃や整理整頓の意識が十分に定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃・整理整頓の習慣化</li> <li>掃除のリストを再確認し、朝・夕の清掃ルールを定着させる。</li> <li>整理整頓の基準を明確にし、自由に使えるものとそうでないものを区別。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善への意識不足: PDCAサイクルや業務改善に対する意識が低く、職員間での目標設定や振り返りが不十分。</li> <li>職員間の共通理解の不足: 支援計画の共有が不十分で、支援の一貫性が確保しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の業務改善意識の低さ: 目標設定や振り返りの文化が根付いておらず、改善の意識が薄い。</li> <li>支援計画の共有不足: 職員間の共通理解が不十分であり、支援の統一性が確保しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善の意識向上</li> <li>会議の中で「業務改善」について話し合い、テーマとして取り上げる。</li> <li>目標設定と振り返りを行い、業務改善のサイクルを確立する。</li> <li>支援計画の共有強化</li> <li>職員間で5～10分の短いミーティングを定期的に設け、支援方針の確認を行う。</li> <li>支援会議を会議ベースで実施し、共通理解を深める。</li> <li>研修機会の確保と活用</li> <li>法人内の研修機会を定期的に確保し、基礎的な研修を導入。</li> <li>外部研修の情報を積極的に提供し、参加しやすい環境を整える。</li> </ul>

事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ほじてい
------	------------------------

公表日 2025年 3月25日

利用児童数 9名

回収数 5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	2		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	2		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1		1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			1	4	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 放課後等デイサービス ぼじてい				公表日	2025年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6					

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		年長保護者に向けて、就学に当たっての情報提供を行なうなど、保護者向け研修を計画してはどうでしょうか	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			母子通所で保護者同士による懇親会を行ったが、今後計画されていくと良いとおもいます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6					
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3			今後、開催していきたい。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6				
		46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
		47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1			服薬について、職員の共通把握の必要はありませんか
		48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1			
		49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1			
		50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2			今後、保護者に周知していく。
		51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6						